

る、生きがいを感じる、住んで良かった長生村」の実現を目指したいと考えます。

皆さんのお手元に公約が掲載された後援会加入リーフレットが届きましたら、ぜひご一読いただき、おだか陽一に対しさらなるご理解とご支援がいただければ、どうぞよろしくお願いいたします。

「実績」と言ったら ふるさと納税

津波避難施設の建設、中学生の海外派遣、高齢者のための福祉タクシー、交流センター建設、高根小体育館大規模改修等。これらに資金としての国、県とのパイプも活用しましたが、歳入の目玉として目をつけたのがふるさと納税です。

三期十二年間で積み上げたその額、令和六年一月現在四十二億三五〇四万円余。

安定した寄付金にしようとして、リピーター作りのために平成二十九年十二月から始めた、「五万円以上の方へのお礼の電話」は五大新聞にも取り上げられました。その数現在、六九四五件になります。

「いろいろな市町村に寄付したけど、お礼の電話はあんたが初めてや」とか「村長さん頑張つて、

また応援します」とのお話をいただき更に熱がこもります。全国の皆さんからの応援により、お陰様で令和元年度全国の村で日本一に、令和二年度は千葉県一位になりました。

ふるさと納税 寄付金一覧 (平成24年度～令和5年度1月末現在)	
年度	金額(円)
平成24年度	105,000
平成25年度	30,000
平成26年度	140,000
平成27年度	1,230,000
平成28年度	119,017,313
平成29年度	354,363,141
平成30年度	626,447,000
令和元年度	792,500,018
令和2年度	1,079,847,000
令和3年度	522,474,000
令和4年度	374,053,000
令和5年度	364,840,500
(R6年1月まで)	

子ども達の食の安全を 給食センターが守ります

平成二十四年一月(石井俊雄村長時)に発生した長生中学校での食中毒。原因はパン屋さんでしたが、文部科学省からは村内小、中四校の施設改善が指摘され、以降部分的改修でいいできました。

平成二十八年、有識者、保護者等をメンバーとする「学校給食のあり方検討委員会」より「安全で安心な給食を提供できるのはセンター方式が望ましい」との意見をいただきました。本来ならすぐに建設に着手す

べきでしたが、他に優先すべき事業があり遅くなりましたが、ようやく建設が始まりました。調理される方々の健康と衛生面を考えた最新の設備、食材の入荷から給食の配給まで流れを一方方向にすることで汚染や交差事故が無くなります。離れた位置にアレルギー対応ラインがあり安心です。現在の保温容器は熱いものは熱いうちに、冷たいものはそのままおいしいうちに届けます。



茂原市学校給食センター



東庄町学校給食センター

次の目標は 給食費無償化

現在の小、中学校四カ所の給食を一カ所の給食センターにすることで、ランニングコストが節約できます。もちろん新増改築するよりもずっと安上がりです。

その削減された経費を使って、子供達の給食費を無償にします。

二月の 「村長への手紙」から

茂原駅を利用する七井土のHさんから、「なぜ村長はJRの新ダイヤや、京葉線快速の各駅停車化に反対しなかったのか」との手紙をいただきました。東京まで遠距離通勤するHさんにとって必要な快速電車だ、とのこと。

【回答】

Hさんのおっしゃるとおり、村内の方で茂原駅あるいは一宮駅から快速を利用し、遠距離通勤をされている方が多くいらっしゃる。そして、通勤快速が減便となるダイヤ改正(案)に一定のデメリットがあることは認識しております。

一方で、本村はJR八積駅を有しており、今回のダイヤ改正(案)では八積駅の停車本数は増加するため、八積駅利用者にとっては利便性が向上されると考えられます。

また、村の施策としても「八積駅を中心としたまちづくり」を進めていることから、今回のダイヤ改正(案)についての「ダイヤの再検討を求める要望」には賛同いたしませんでした。

「おだか陽一」検索
<http://odakayoichi.com/>